



観光地・観光資源・観光施設の課題解決に向けた調査・分析と施策の提案

研究の概要

観光地等が抱える課題を明らかにし、持続可能な観光の実現に向けた政策・施策を検討するため、旅行者を対象とした現地調査や、調査会社の回答モニター等を対象としたアンケート調査を行うとともに、既存統計・公開データ、検索データ、Web上のクチコミ等も必要に応じて活用し、多面的に分析しています。主な研究対象は、オーバーツーリズム、観光財源（入山料・入域料等）、旅行者の意識・行動、国立公園等の自然観光資源、ビジターセンター等の観光拠点施設、地域資源を活用した観光振興です。調査の企画、質問票の設計、データ収集、統計分析から結果の解釈までを一貫して行い、得られた知見をもとに、観光客の分散や行動変容、観光地管理、施設整備、観光振興等に関する政策・施策を提案します。観光客数の増加だけでなく、地域社会や環境への影響にも着目し、観光利用と地域・環境との両立を重視しています。

※これまでの私の研究成果等については、下にありますQRコードのリンクからご確認ください。

研究の特徴

行政・企業・観光関係団体等が抱える観光に関する課題について、調査の企画・設計からデータの収集・分析、結果に基づく施策の検討まで一貫して対応できます。例えば、オーバーツーリズムや観光客の集中への対応、入山料・入域料等の観光財源の導入可能性、旅行者の意識・行動の把握、国立公園や自然観光資源の持続可能な利用、ビジターセンター等の観光拠点施設のニーズの把握や活用方策の検討、地域資源を活用した観光振興などについて、調査研究や助言を行います。特定の施策を前提とせず、アンケート調査や各種データを用いて実態やニーズを把握し、その結果を政策・施策の検討につなげることを重視しています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ◆日本航空株式会社：共同研究「サウナツーリズムによる地域振興の可能性に関する研究」
- ◆和歌山県：環境影響評価審査会 委員
- ◆奈良県生駒市：生駒山麓公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討懇話会 委員
- ◆泉佐野観光ボランティア協会：研修会講師「観光業界を取り巻く環境変化と歴史・文化資源の活かし方」
- ◆長野県飯田市：いいだ高校生 ESD 塾講師「観光の力で育む持続可能な地域」

研究者からのメッセージ

観光地・観光事業等が抱える課題について、調査設計から分析、政策・施策提案まで幅広くご相談ください。受託研究・共同研究・学術指導・講演・研修等のお申し込みを歓迎します。

研究者情報サイト
researchmap



研究分野：観光学、環境政策、社会調査

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学観光学部 観光学科・講師・佐々木啓

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp



wakayama univ.